

第41回全国ボランティアリズム推進団体会議 in 茨城 ～コモンと市民自治の発展～

参加者
募集中！

「ボランティアリズム推進団体会議」（通称：民ボラ）は、ボランティアに市民活動を進めようとする団体・人々が集い、相互研鑽を進める場です。年1回開催され、8年ぶりに茨城県で開催することとなりました。

民間非営利団体の役職員やボランティアなど、市民活動に関わる全ての皆様にご参加いただきたい内容です。ぜひご参加ください。

特徴

- ・キーワードはボランティアリズム、市民参加、共感力の向上
- ・民主主義の根幹をなす「市民が主体的に社会参加すること」。その思いをつなぐ場
- ・実践例、経営課題への工夫・努力、知恵を分かち合う

日時

2024年 **8月10**日(土)13:30～**11**日(日)13:10

- ※ 受付開始：10日(土)13:00、11日(日)9:00
- ※ いずれか1日のみの参加も可能

会場

ザ・ヒロサワ・シティ会館
(茨城県立県民文化センター)
分館1階 集会室7～9号
※ 詳細は最終ページ参照

参加方法

以下の3つからお選びいただけますが、参加者同士の対話を重視するため、①を歓迎します。

- ① 会場参加
- ② ウェブ会議システム「Zoom」を通じたオンライン参加
- ③ 後日動画視聴

対象

- ・全国のボランティア・市民活動推進団体の役職員やボランティア、ご関心のある方
- ・ボランティア・市民活動センター、NPOセンターなどの市民活動支援組織、行政職員、市民活動団体、市民など、どなたでもご参加いただけます。

定員

参加方法	定員(申込先着順)
会場参加	80名
オンライン参加	100名
後日動画視聴	なし

参加費

参加日	参加費(税込)
両日とも	5,000円
いずれか1日のみ	3,500円

- ※ いずれの参加方法でも金額は同じです。
- ※ 参加費のみでボランティアに運営しておりますので、金額設定にご理解ください。
- ※ 懇親会費は別途実費分。

主催

ボランティアリズム推進団体会議

(世話団体) 認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ、社会福祉法人大阪ボランティア協会、NPO法人静岡県ボランティア協会、社会福祉法人世田谷ボランティア協会、認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、社会福祉法人東京都共同募金会、東京ボランティア・市民活動センター(社会福祉法人東京都社会福祉協議会)、一般社団法人東京メディエーションセンター、認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク、ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし、NPO法人山梨県ボランティア協会、認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK(五十音順)

詳細は裏面

オープニング・セッション:「市民がつながり、地域をつくるために、私たちができること」

日時: 2024年8月10日(土) 13:40~15:15

茨城 NPO センター・コモンズ初代代表理事であり、地域社会論が専門の茨城大学名誉教授の帯刀治(たてわき いさお)氏は、2020年に亡くなるまで、様々な地域研究に取り組み、その思想はコモンズの地域への関わり方のベースにあります。

大学と地域住民、NPO がどのように関わってきたか、鹿島町(現鹿嶋市)、日立市などで行われたコミュニティ

づくりと現在のコミュニティづくりはどのように違うのか、社会教育の今後のテーマは何か、NPO は教育やコミュニティづくりにどのように関わり、市民が主役となる社会づくりに取り組めるのかに関して、帯刀先生と一緒に研究活動に携わった茨城大学の長谷川先生、原口先生とともに、鼎談で模索します。

【協議者】

茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 氏 茨城大学 人文社会科学部 学部長 原口 弥生 氏

【コーディネーター】 認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ 代表理事 横田 能洋 氏

分科会①:「災害支援力は高まっていると言えるのか ～能登半島地震の『今』から考える～」

日時: 2024年8月10日(土) 15:30~18:00

自然災害が多発する中、行政、社協、NPO の三者連携の必要性が言われているが、支援の現場において「社協(災害ボラセン)の受け皿がないから、外部からの支援が受けられない」といった状況も見受けられる。必要な支援が、役割が限定、特定されてしまうことで届かない

といった状況も生まれているのではないかと。

行政、社協、NPO がそれぞれのチカラを発揮できるような協働のかたちをつくるために必要なことは何か。発災時から現在まで、能登半島地震の被災者支援に関わってきた人(団体)からの報告をもとに考え合いたい。

【話題提供者】

被災地 NGO 協働センター
代表 頼政 良太 氏

【話題提供者】

NPO 法人 いがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李 仁鉄 氏

【話題提供者】

能登復興ネットワーク(NRN)
事務局長 森山 奈美 氏

【話題提供者】

ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし
理事 神元 幸津江 氏

【問題提起】 認定 NPO 法人 とちぎボランティアネットワーク 理事長 矢野 正広 氏

分科会②:「エピソード・ボランティアの可能性 ～市民社会を移動するボランティアとの向き合い方と市民自治を考える～」

日時: 2024年8月10日(土) 15:30~18:00

市民活動団体の運営の悩みの一つとして、“短期間で活動の場から去るボランティアやスタッフが増えてきた”という話を耳にすることがある。どうやら、「一つのところで頑張る価値観とは異なる人」たちが増えているようである。一方で、「一か所にはとどまらないが、多種多様な活動に参加する人たち」や、「利用者や当事者性の側面とボランティアや支援者の側面と、両面を持ち合わせる人たち」もいるようだ。定着しないのではなく、移動し続けているだけなのかもしれない。

この分科会では、“エピソード*”という潮流を理解し、なかでもボランティアに焦点を当てて、“エピソード

ック・ボランティア”の積極的な意味を見出す分科会としたい。

彼らは果たして社会のことに主体的にかかわる「自治する市民」となるのだろうか？そして市民活動団体や中間支援組織はこの流れにどのように対応していけばいいのだろうか？を深める分科会としたい。

*エピソード:一か所には必ずしもとどまらず、断続的に多様なボランティアや非営利の活動に参加する方法(『ネットワーク』2023年10月号より定義を引用;東京ボランティア・市民活動センター発行)

【話題提供者】

東洋大学 社会学部 社会学研究科
教授 須田 木綿子 氏

【話題提供者】

茨城県内の市民活動団体(調整中)

【コーディネーター】

社会福祉法人 大阪ボランティア協会
常務理事・事務局長 永井 美佳 氏

分科会③:「日本が目指すべきインクルーシブな社会とは？」

～イタリア・日本の“フル”インクルーシブな教育の現場から考える～

日時：2024年8月11日（日）9:15～11:45

2022年秋、国連より日本に対して、分離教育に関して是正勧告が出された。一方、東京都国立市や神奈川県海老名市などでは、同じ地域の子は同じ学校へ行けるようにし、普通学校内で共に学びながら支援をする方針（“フル”インクルーシブ教育）に舵を切ろうとする自治

体も出てきている。

50年以上“フル”インクルーシブ教育を行ってきたイタリアの教育・社会事情と、教育のあり方を転換しようとしている日本の自治体の動きや課題を学びながら、日本の目指すべきインクルーシブな教育や社会を探る。

【事例提供者】

神奈川県立鶴見支援学校
教員 大内 紀彦 氏

【事例提供者】

東京大学大学院 教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
教授・副センター長 小国 喜弘 氏

【コーディネーター】一般社団法人 東京メディアエーションセンター 代表理事 鈴木 佑輔 氏

分科会④:「市民社会は寄付を文化にできるのか？」

～寄付のあり方をじっくりと考える～

日時：2024年8月11日（日）9:15～11:45

近年、災害の頻発化による義援金・支援金の広がりや、インターネット普及による寄付方法の気軽さから、寄付は広がっています。しかし、世界的に見て、日本は寄付の少ない国だと言われています。

そこで、この分科会では、寄付についてのイロハや

日本の状況などを知り、また共同募金や、ふるさと納税やクラウドファンディングなど返礼品のある寄付についても考え、これからの寄付のあり方について議論を深めます。

【基調発題者】

関西大学 法学部 教授 坂本 治也 氏

【話題提供者】

社会福祉法人 東京都共同募金会 常務理事 枝見 太郎 氏

【話題提供者】

社会福祉法人 大阪ボランティア協会
理事長 早瀬 昇 氏

【コーディネーター】

株式会社 ソノリテ 代表取締役 江崎 礼子 氏

クロージング・セッション:「学んだことを自分事にしよう」

日時：2024年8月11日（日）12:00～13:00

オープニング・セッションや各分科会を通じて、ここまで多くの情報・視点を得て、意見、感想、またもやもやを感じたと思います。

このセッションでは、各分科会を振り返りつつ、その学びを自分事化し、明日以降の活動や実践に具体的につなげられるよう言語化し、共有する作業を一緒に行います。

【ファシリテーター】

認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ
常務理事・事務局長 大野 寛 氏

登壇者の紹介文など詳細はこちら



日程

日	曜日	時間帯	内容	集会室	
				8号	9号
8月10日	土	13:30 ~ 13:40	開会の挨拶、オリエンテーション	●	
		13:40 ~ 15:15	オープニング・セッション：「市民がつながり、地域をつくるために、私たちができること」	●	
		15:30 ~ 18:00	分科会①：「災害支援力は高まっていると言えるのか ～能登半島地震の『今』から考える～」	未定	
			分科会②：「エピソード・ボランティアの可能性 ～市民社会を移動するボランティアとの向き合い方と市民自治を考える～」	未定	
		18:30 ~	希望者による懇親会	近隣の別会場	
8月11日	日	9:15 ~ 11:45	分科会③：「日本が目指すべきインクルーシブな社会とは？ ～イタリア・日本の“フル”インクルーシブな教育の現場から考える～」	未定	
			分科会④：「市民社会は寄付を文化にできるのか？ ～寄付のあり方をじっくりと考える～」	未定	
		12:00 ~ 13:00	クロージング・セッション：「学んだことを自分事にしよう」	●	

会場までのアクセス

ザ・ヒロサワ・シティ会館

(茨城県立県民文化センター)
分館1階 集会室7~9号
住所：茨城県水戸市千波町東久保 697 番地
電話：029-241-1166
・JR常磐線水戸駅より徒歩約20分
・有料駐車場あり。

夏季休暇時期ですので、宿泊のご予約はお早めに！

申込締切

2024年8月8日(木)

申込方法

- 以下のリンクまたは右のQRコードより、特設サイトに必要事項をご入力ください。
< <https://bit.ly/minbora2024> >
- 上記の特設サイトにアクセスできない方は、以下のページより参加申込書をダウンロードし、以下までお送りください。(極力上記の特設サイトよりご入力ください)
< <https://www.npocommons.org/topics/1581/> >
- 1団体複数名のご参加も歓迎です。
- いただきます個人情報は、今年の民ボラ事務局である茨城 NPO センター・コモنزの個人情報保護方針に基づき、本事業運営及び関連するご連絡のみに使用します。



参加費支払方法

参加方法	支払方法
会場参加	当日現金手渡し、もしくは事前に下記口座に振込
オンライン参加、または後日動画視聴	事前に下記口座に振込

振込口座

中央労働金庫 水戸支店 普通 6776371
特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモنز 代表理事 横田 能洋
(トクティヒエイリカツトウ ホウジシ ヌ イハ ラキエヌヒ -オーセンター)
または
ゆうちょ銀行 〇一九店(ゼロイチキユウ店) 当座 口座番号：0046911
記号番号：00160-7-46911 茨城 NPO センター・コモنز
(トクヒ) イハ ラキ エヌヒ -オーセンター コモنز)

お問い合わせ

第41回全国ボランティア推進団体会議事務局 (認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモنز)
〒310-0031 茨城県水戸市大工町 1-2-3 トモスみとビル 4階 みとしんビジネスセンター C-1
電話：029-300-4321 FAX：029-300-4320 eメール：info@npocommons.org